

令和元年度第1回筑前町総合教育会議議事録（要点筆記）

開催年月日	令和元年10月23日（水）			
開催場所	筑前町役場本庁舎2階 庁議室			
委員の欠 出 (出席 6名) (欠席 0名)	職名	氏名	出欠	備考
	町長	田頭 喜久己	出	
	教育長 職務代理者	砥上 淳一	出	
	教育委員	佐藤 純子	出	
	〃	尾崎 純子	出	
	〃	矢野 博一	出	
	教育長	入江 哲生	出	
会議録署名人	佐藤純子委員・矢野博一委員			
その他に の事 議 参 と 者 職 氏 の 名	職名	氏名	備考	
	教育課長	橋本 照美		
	生涯学習課長	福本 歓		
	教育課長補佐	宮崎 宣匡		
	教育課 学校教育係長	小川 光代		
	総務課長	大武 一幸		
	総務課 行政政策係長	斉田 藤孝		
	総務課行政政策係	原田 知加子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に付した事件                      別紙のとおり</li> <li>・会議の経過                              別紙のとおり</li> <li>・傍聴人0名</li> </ul>				

	( 開会 15 : 40 )
齊田係長	ただ今から令和元年度第1回総合教育会議を開催いたします。はじめに町長からごあいさつをお願いいたします。
田頭町長	みなさまこんにちは。この会議は法に基づく会議でございまして、議事録は公開されます。住民の方々の教育に関する関心は高まっていて、そのひとつの具体策として、このような制度が設けられています。私の方には、様々な教育に関する問題の相談、苦情、ご意見をいただきます。教育委員会部局であるからではなく、総合的に考えていく必要があると考えているところであります。町長職というのは統括する義務もあるわけでございまして、それぞれの委員会の具体策について立ち入ることはできませんが、統括する責務はありますので、農業委員会・監査委員会等につきましても、意見を述べさせていただいたりしているところでございます。 今日の会議が本町をとりまく教育環境にとって一歩前進する会議となりますよう心からお願い致しまして、私の挨拶と致します。
齊田係長	ありがとうございました。 続いて議事録署名人の選任でございます。今回は佐藤委員と矢野委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
佐藤委員 矢野委員	はい。
齊田係長	ありがとうございます。 それでは、4の協議・報告事項に入っていきたいと思います。これより町長の進行をお願いいたします。
田頭町長	私の進行ということで、ご協力のほどよろしくをお願いいたしたいと思います。それでは、(1)アフタースクールの検証について、報告をお願いします。
教育課長	はい。(1)アフタースクールの検証について～(3)学校施設の洋式トイレ化についてまで、それぞれの協議報告事項につきましては、各担当から報告申し上げたいと思います。まず、(1)アフタースクールの検証について担当から説明をさせていただきます。
田頭町長	はい、お願いします。
石川 指導主事	アフタースクールの検証について説明をさせていただきます。資料をご覧ください。 (1)各中学校の参加生徒数についてということで、平成30年度と令和元年度を載せております。これを見ていただくと、学年によって人数は様々ですが、平成30年度が155名、今年度が150名で、月によって若干変動しますが、平成30年度については2月の分、令和元年度については9月の分で集計させていただいています。これらを見ていただくと、約150名が参加しており、これは全生徒数の約20%となっています。昨年度の1・2年生で今年度も参加している生徒(現在2・3年生)は約46%になります。昨年度からの参加

者は約半分となっています。

(2)学力向上についてですが、資料中のグラフは、アフタースクール時に行った数学と英語テストの結果です。青のグラフが昨年7月、赤のグラフが今年2月の結果で、平成30年度は、数学・英語ともに上昇していることがわかります。そして、平成31年の全国学力・学習状況調査結果のうち、福岡県と筑前町の平均正答率を比較すると、数学は福岡県が59.0%に対し筑前町は61.0%、英語は福岡県が54.0%に対し筑前町が56.0%で、数学・英語ともに福岡県を2ポイント上回っています。点数の上昇は中学校の先生方の授業力向上が大きく関係していることが考えられますが、数学・英語ともにアフタースクールで学習している教科であることから、アフタースクールが点数の上昇へ関係していることも考えられます。

(3)生徒アンケートについてです。「わからないことをどんどん聞けた」「勉強がわかるようになり、成績が上がった」「苦手な教科が好きになった。苦手から得意になった」等の良い意見があった一方、「社会や理科も教えてほしい」「もっと静かに学習したい」「ルールを守っていない人をもっと注意してほしい」等の生徒からのお願いや今後の改善点が挙がりました。

(4)成果と課題についてですが、成果は、「半分近くの生徒が昨年度からの参加者であることを考えるとおおむね満足している生徒が多いと考えられる」「今年度の全国学力学習状況調査や生徒アンケートからアフタースクールの学びが成績の伸びに関係していると考えられる」「成績の伸びと直接的な関係はないが『勉強の仕方がわかった』や『苦手な強化が好きになった』等、学ぶ意欲が高まった生徒もいた」「今年度は5月から自習、6月から授業開始とした（昨年度は7月からのスタート）。生徒たちに1日の振り返りを書かせたとき、『こんなに時間が経つのが早いとは知らなかった』等、学習に対する意欲の高まりを感じた」ということです。課題と改善点としては、レベルが低い等の内容面が合わない等の理由で人数が減っていった学年があり、内容面や方法面について今後協議していく必要があるということです。その他にも、「講師の先生は、週に2回の1時間程度しか生徒とかかわる機会がないため、生徒指導までは難しく、約束事等を守らせることが難しい」「参加費や教材費の未納や、お菓子等を持参する等約束事が守れない生徒への指導、講師の先生と生徒の関係がうまくいかないとき等への対応について」という意見が出ました。例えば、授業中騒がしい、講師とうまくいかない等、何らかの問題が発生し、昨年度も今年度も保護者に謝罪するケースが発生しています。また、「地域学校協同活動推進員や講師の先生の確保が難しい」という意見も出ました。時間帯が夜の7時から9時までであるため、昼間仕事をされている方もいらっしゃいますし、現役の講師をされている方もいます。現在は退職校長会の先生が動いてくださっているから確保できていますが、今後の講師の確保は問題です。また、今一部委託している学校が来年から生徒の募集をやめて、令和5年で閉校します。来年度からの持続可能な運営方法について検討が必要だと考えます。

田頭町長	<p>今事務局の方から説明していただきました。成果はありますが、様々な問題も発生しています。まず、このアフタースクールの取組みが是か非か、ぜひ率直な意見ををお願いします。進行しながらというのもなんですが、私の意見を申し上げます。住民からの感触を主に発言しますが、アフタースクールについては好評です。継続してほしい、なぜ今までやらなかったのか、こんなことがやれたのかと言われます。あるPTA会長からも言われました。ただ、事務局としては、持続性の点から今のままでは難しいという意見であったかと思えます。問題は、やめてしまって課題を解決するのか、継続したまま課題を解決するのか、その方向性ははっきりさせておこうと思うところがあります。ご意見ををお願いします。</p>
砥上教育長 職務代理者	<p>アフタースクールが始まったときに、ある前町議の方から「高い塾に行かなくても地元で勉強できるということで助かっています。みんな喜んでますよ」と言われました。アフタースクールの先生も一生懸命してくださっています。くじ引きしないと入れないのではないかとと思っている生徒もいたくらいでした。大変でしょうが、ぜひ続けてほしいと思っています。</p>
田頭町長	<p>違った代替案があるとか、このことに力を入れるべきではないかとか、あるのではないかと思います。ぜひ他の方も意見ををお願いします。</p>
矢野委員	<p>同じ意見になってしまいますが、私の中学生の子供もアフタースクールに行っています。周りの保護者の評判はいいです。このようなことをしてくれてありがたいという話を聞きます。よその町の方と話した時も、褒められたり羨ましがられたりします。このようなことができるんだねと言われます。前教育長等がご尽力してくださって行うことができているのだと話します。続けていくのは大変だと思いますが、続けていってほしいと思います。自分もそうですが、他の筑前町の保護者も続けていってほしいと思っています。</p>
佐藤委員	<p>他の市町村の教育委員さんとも話しますが、筑前町は教育に熱心という印象を持っていただいているようです。筑前町のアフタースクールの取組みは頑張っていて継続してほしいです。</p>
尾崎委員	<p>私は、現職の教員をしています。まず、アフタースクールの取組みを始めるときに本当にできるのかなという声がありました。保護者のニーズは高いと思いますので、規模が大きくなるといいなと思います。講師が足りなくなるのではないかという問題もありますし。教え方についても、現状を知っている先生でなければならない。実力別に教えるほうがいいと思いますがそうすると大変だと思います。勉強がわからない子どもは、授業を聞いていてもわからないから、授業についていけない状況であると思いますし、そういう子どもが、授業中に騒いだりといった行動をするのだと思います。現役の先生はなかなか忙しいです。ただ、続けてほしいと思います。アフタースクールの取組みをアピールしていけば、教育に関心のある保護者は、筑前町に子どもをやろうかなと思うのでは。</p>

田頭町長	結論としては効果があるということですかね。方向としては続けていくべきだということでしょうか。ただ、このことによって、昼間の学校に悪い影響があるなら考えていくべきだと思います。昼間の学校の先生はどのような捉えているのでしょうか。
石川 指導主事	先生たちも色々な先生方がいらっしゃって、いい部分で言えば学力が上がったとか、敢えて行きなさいと言っている先生もいます。学力的に言っても向上していますし。ただ、先生によっては昼間の授業が終わった後に、教室を使われるということで、使い方等について理解してもらえないことが今まで多々ありました。最近はそこまで言われていません。
田頭町長	一番起こりの部分で大切だったのが、昼間の学校の先生方にこれ以上の負担をかけないということでした。かけてないですよ。
石川 指導主事	かけていません。
田頭町長	物事は継続性が極めて重要ですので、続かなければ仕掛けは失敗ということになります。石の上にも3年ですので、3年か5年は続けてみないとわからないことがあるかと思えます。ただ、本町の子どもたちの置かれている環境ですが、例えば私は筑紫野市や春日市の子どもたちと比較するのですが、あの辺りは塾なんかが多いです。身近に行けるという環境があります。また、このように格差社会になってきますと、裕福な家庭ほどいい学校に行けると言われているかと思えますが、そういった環境の中で、本町の子どもたちに劣った面があるとすれば、行政責任でもあるということになるかと思えます。そういったことを評価するのは保護者なんですね。これは町長の思い上がりでもなく、教育委員会の事務の面でもなく、評価するのは保護者であろうし、ゆくゆくは子どもたちであります。そこで財政的な問題が出てくるとすれば、財政面は町長部局ですので、しっかりとした体制をとっていきたいと思っています。県内のある市では、民間塾にお願いしてかなり経費をかけて行っており、高い学力層への取組みをしていますが、もちろん塾に行く生徒もいるそうです。本町は底上げすることを主に考えています。高校や大学へ進学することを考えている生徒がいるかと思えますので、クラスをABCにわけるともいいのかと思います。授業の一端を担っているかと思えます。基本的には、制度や取組みについては子どもたちの将来を考えたらやるべきだということで、考えは一致しているということでしょうか。
委員全員	はい。
田頭町長	それではその具体策として、維持するためには、お金もかかるし人出もいるよという話になろうかと思えます。それで、ひとつは何故1年間やってこられた先生が今回辞められたのかということです。そういった意味合いのことがわかれば少し説明をしてください。
石川 指導主事	ひとつは、他の市町村でもこのような取組みを広げていくということがあります。また、自分の思ったものとは少し違ったということも言われてあ

	りましたし、金額面というところでも言われていました。今現在他のところでアフタースクールを立ち上げようとしていること、そして今、他の予備校でも講師として働かれています。
田頭町長	では、うちの方に来ていただいていたのは、なんというか心意気というか、ご自分の思いもあって来られていたということでしょうか。初年度は。
石川 指導主事	はい。初年度は、やはり思いの部分があったと思います。今まで塾で授業されてきて、私に話していたのは、塾はたくさんのお金を払うじゃないですか、でも経済格差じゃないんだと言われていました。そこは、筑前町と一致していました。学力格差は経済格差ではないという考え方が共通であることは確かでありました。
田頭町長	一度見に行ったことがありまして、非常に情熱的な先生だなと思いました。
教育長	これを維持していく体制、協力していただける講師陣の確保が大きな課題であるかと思います。
田頭町長	講師陣の確保という点で、何か具体的な策はありますか。
石川 指導主事	現在まだ動き出しては無いのですが、またお願いするところではあります。ただ、お願いするばかりでは…。
田頭町長	そうですね。組織体としては、お願いするばかりでは不安定ですね。朝倉地域が低下しないようにという思いもあります。朝倉地域の方がより応援していただけるとありがたいなと思うんですけどね。講師陣の特徴として高校の先生が多くいらっしゃるの、地元中学のためにという思いを持っていただければなと思います。それと問題は、生活指導もやらなければならないのかという点ですね。同じようにやるというのであれば、昼の延長線ではないかと。それでは、第2第3のアフタースクールがいるじゃないかと。塾と同じように、態度に問題のある生徒は退出というようにするとか。
石川 指導主事	そこは、一番悩ましいところです。
田頭町長	行政だからこそ悩ましいところですよ。
石川 指導主事	子どもたちはお金を払ってきていますので、やはりそこは厳しくしないといけないかなと。協議しながら考えていかなければと思います。
田頭町長	難しいところですよ。
尾崎委員	約束事は文書にしていますよね。
石川 指導主事	しています。学ぶ意欲に欠ける子どもさんについてはご遠慮いただくことがありますと明記しています。
佐藤委員	友達が行くから行こうという子もいるそうです。ですから、その子が辞めたから辞めたケースがあるそうで、親としては頑張って続けてほしいと思っているみたいですけどね。やはり厳しさはあっていいと思うんですよ。な

	んというか、そこに友達と遊びに行っているのではないんだよというね。保護者にはきちんと説明していったいいんじゃないでしょうか。
田頭町長	アフタースクールが全てではないわけなんですね。塾に行く子は塾に行ってもいいですし、ここにきて勉強する子は勉強するしという。選択肢の一つとしてアフタースクールがあるという。だから、アフタースクールで生活指導まで昼間と同じようにすべて完璧にやるということはできませんよというのがスタート地点だということでしょうけど。いかんせん行政ですから、昼間と同じ感覚でありがちですよ。それはよくわかります。ただ、義務教育じゃないですよ。
佐藤委員	だけど、アフタースクールに通っている生徒さんたちで、限られた時間で一生懸命勉強しようとして、熱心に勉強していきたいと思っているところに、お菓子やら持って行って遊びみたな感じで行かれる子どもさんに対しては、厳しくなさっていいんじゃないですかね。
生涯学習課長	最初のスタート時点の保護者説明会等で、特に昨年度そういったところで友達が行くから一緒にといい、一緒に遊び感覚で騒ぐということも起きていましたので、今年度はスタート時点で、保護者にも十分説明はしているところです。実際に指導関係が多々あるということで、イエローカードを取り入れ、保護者にもそういう事項を伝え、今年度は苦慮しながらも対策をとっている状況です。実際に学びに来ているんだよという意識づけをし進めているところではございます。
田頭町長	コスモスプラザのエントランスのところがありますよね。子供たちがちよいちよ勉強していたから、椅子を置いたんですよ。そしたら子どもたちが勉強を始めたんですよ。それならば、暗いから照明をつけようといってつけました。本来ならば図書館でバンバン勉強していいと思うのですが、図書館には図書館の運営理念があります。その後、めくば一るもしたわけですよ。うちの子どもたちが待ち合わせして勉強するならそれがいいわけですよ。今は夏場でクーラーなしでは勉強できないし。それと子どもたちに声をかけるんですけど、今はパンを食べたり、ジュースを飲んだりしながら勉強をしているわけなんですよ。その辺もあんまり咎める必要もないのかなと。そんな風に子供たちが学習意欲を自発的にやって表現する場所がないのであれば、うちのめくば一るやコスモスを開放してもよかったのですが。何と云ってもうちは学校にクーラー入れたよと、そして教材は全部あるわけですからね。それに勝るところはないだろうということで、今回の具体的な取組みになったのだと思うのですが。ぜひ、講師陣の確保をというか。これは国県の補助はどれくらいでとるとかな。
教育課長	3分の2で、来年度までです。
田頭町長	良い制度は、国にまた要望していきます。一団体が動いてもどうしようもないところはあるんですが、良い制度は要望していきます。 この間、県内の中核市の首長がアフタースクールについて聞きにきました。

	<p>様々な事情もあって、なかなか実行できないそうですが、学力を上げたいということでした。うちの場合は教育委員会が積極的に仕組みを作ってくれましたし。</p>
教育長	<p>うちの場合は学校を使って行っているからある程度秩序を守らせないと、そこが学校と違うというところで、また、昼間の学校に迷惑かけてはいけないところ。その辺の事務局としての大変さというかですね。</p>
田頭町長	<p>県内のある小さな町で、特に教育に力を入れているところがあるんですがまず塾を開いたそうです。うちでいうとコスモスプラザのようなところで塾を開いたそうなんですが、講師は誰かというと役場の職員だと。授業をさせてみたが、やはり無理だったということでした。やはりマンパワーですから教師力を持った人にきちんと教えてもらわないといけないなということがわかったということでした。今は塾等の先生にお願いしているそうです。昼間とは違う教え方をしているそうです。昼間は総合的に見なければいけないですからね。</p> <p>そういうことで、人的な確保が一番大変になると思います。まさに人脈ですから。それぞれ個人のマンパワーも活かしていただいて、教育委員さん方の人脈も、ともすればお願いして良い人材を確保する。なんでも同じですが人ですから。特に教育であれば、良い人確保するように努力していただきたいと思います。</p> <p>私の信念は、いい企画には予算がつくということです。マンネリ化したところは削られます。私が町長になって一番にお願いしたのは、指導主事の配置です。これは非常に矛盾を感じるのですが、市は指導主事を配置するための予算措置があり、町村には指導主事の配置が義務付けられていませんし、予算措置もありません。役場の職員が教育委員会で先生たちと対等に話せるわけがありません。今は優秀な指導主事の先生にきていただいておりますのでこういった議論ができていますし、今回の取り組みもできたのだと思っています。ですので、ぜひ指導主事の先生も人脈等使っていただいて、良い人材確保をしていただきたいなと思います。教育委員会がしっかりしたそういった方針を出されれば、町としては応援していきます。削らなければいけない分野もでてくるかもしれませんが、それはそれで。よろしくお願ひしたいなと思います。1番目の問題につきしては、こういった考え方でいくということで先に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>続いて、2番目の三並小学校の児童数減少対策についてです。事務局の方から説明をお願いします。</p>
山下 指導主事	<p>三並小学校の児童数減少対策について説明させていただきます。</p> <p>(1)三並小学校児童数の推移についてです。基にしていますのは、5月1日現在の住基データでございます。これで見えていく限り、おおよそ65名前後を推移していきながら、今のような状態が保てるのではないかと考えているところでございます。</p> <p>(2)小規模校ならではのメリットについて、全部で7点挙げております。は</p>

じめの3点が子どもから見たメリットと考えております。一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導ができる、意見や感想等を発表する機会が多い、活動等においてリーダーを務める機会が多いという点が挙げられます。また、指導者側から見たメリットについて4点あげております。ひとつは特別教室等の利用がしやすいという点です。大規模校になりますと、どうしても教室使用率が低くなりますが、小規模校なので利用しやすくなります。それから教材・教具等の整備が行いやすいという点で、少ない数を揃えるだけでもクラス全員に教材・教具が揃うというところでございます。それから異学年での活動が実施しやすいという点です。そして、体験活動・校外学習等を行う際にも、コンパクトに動くことができますのでそういう活動を組みやすいというメリットがあるという風に考えております。

一方デメリットもあります。4点あげておりますが、1点目が子どもについて、2・3点目が学校側として、4点目が保護者からというところでございます。やはり社会性を涵養する機会、それから多様な考え・意見・感じ方に触れる機会がどうしても少なくなってしまうというところなんです。学校から見た2点につきましては、ひとつは切磋琢磨する環境が作りにくい、ふたつは教職員数が少ないため、校務分掌での一人に係る負担が大きいことです。また、保護者からみた場合、PTA活動等における、一人に係る負担が大きいといったことが考えられると思います。

以上のようなところですが、(1)で児童数の推移を見ましたところ、複式等が心配されるかと思いますが、隣接する2学年の人数が16人より少なくなれば複式になるというところでございますが、10人を下回る学年があるものの、隣接する学年が多いので、このままで行けば複式になる可能性は低いのではないかなと考えております。

そうすると、複式を回避するための減少対策ではないと。そうすると、地域の活性化、教育活動の充実というところから考えていった場合に、色々な方法があると思いますが、今回は通学区域の弾力化いわゆる特認校制度というものが実現可能な制度ではないかなということであげさせていただいております。実施状況という風にあげておりますが、北筑後教育事務所管内、また福岡教育事務所管内において、特認校制度を実施されているところがありましたので、少し聞き取りをさせていただきました。その結果でございますが、児童生徒の募集範囲は同じ市町の中でということとされているそうです。在籍期間については、一度入られたら卒業までに原則しているそうです。それから通学は保護者の責任で行うということだそうです。ちなみに、県内の中核市では、範囲が広く保護者の送迎ができない場合がありますので、公共の交通機関を使い、そこが途絶えた場合にはタクシーというところで対応されているそうですが、かなりお金がかかるということをおっしゃっていました。毎年数名の応募があるそうで、2・3名程度とのことです。また、準備期間は2年程度必要で、検討委員会を作って準備を整えていかなければならないのではと、どの市町からもご回答いただきました。特認校制度を採用し

	<p>た場合に考えられる、あるいは、今は実施しているところから伺った成果と課題について書いております。成果としては、利用者側から見た場合、きめ細やかな指導により、大規模校で感じていた困難さを解消することができたということです。これは大規模校で人間関係を作れないとか、集団行動が難しい児童生徒の応募が段々増えてくるという傾向がどの市町もあったようです。その中で、きめ細やかな対応をしていただくことによって、学校に行きにくかったものの、学校に非常に元気に行くようになったということです。学校側から見た成果ということですが、数名にしる増えたということで、多様な感じ方・考え方に触れる機会が増えたということ。また、小規模校では固定しがちな人間関係に、新しい人が来ることによって変化がみられるということが考えられるというところでした。最初の利用者にとっての成果から考えた場合に、他校では適応が難しかった児童生徒さんが特任校に通学することで、通学可能になったということでかんがえれば、うちで実施した場合は町内の学びのセーフティネットという役割が果たすこともできるのではないかと考えています。一方課題は大きく2点ありまして、最初に申し上げましたとおり、何人か増えることによって学級が増えるというレベルではないと考えた場合、児童生徒が増えた学級の担任にとっては、ただ単なる担当する子どもの増加ということで、負担感が大きいということがあるのかなという風に思っています。そことつながりますが、本来の学校に通学するには、多少問題を抱えているお子さんが来られるということで、その子にかかる生徒指導や保護者対応の時間そのものが増えてくるということを実行しているところからも聞いています。また、近年、風水害での対応が増えてきているという状況で、遠くからきている場合、下校が困難であるとか、更に急な発熱や体調不良の時に長時間預かる可能性が出てくるということも心配していますという声をいただきました。また、2点目に書いております利用者の保護者についてですが、子どもは通わせているけれども、その学校が自分の地域だという意識が薄いため、学校行事・地域行事・PTA行事等への参加が積極的ではないというところで、どうしてもトラブルになるころがあるというお話を聞くこともできました。課題はありますが、今いる教員の人数で対応するというのであれば、負担ばかり目立つのですが、特認校制度に係ることだけを担当するような職員を配備していただくことで、対応できるのではないかと考えています。説明は以上でございます。</p>
田頭町長	<p>説明をしていただきました。それぞれご意見を伺いたいと思います。まず課題はあるにせよ、結論としては、やった方がいいということになるのでしょうか。</p>
山下 指導主事	<p>目的をどこにするかにかかるかなということだと思います。例えば、ただ子どもを集めるだけということであれば、やはり負担の方が大きいのかなということになるのでしょうか、先ほど言いましたように、町内の子どもたちの学びの機会を確保するというところでいけば、それなりの効果があるのではないかと考えています。</p>

田頭町長	<p>今、町の動きとしては人口増なんですよ、トータル的に。非常に局地的なんです、依井とか。だから、三輪小学校はまだまだ増えます。当所からあの沿線は増えていきます。今までになかった増加に、とりあえずはなります。それと中牟田地区・東小田地区も増えてまいります。三並もゆくゆくは増えるんです。それは見えるんですが、ここ10年くらいは厳しいかなと。ただ10年すれば大きな人口減少社会がやってきますので厳しくなるんですけども。ならば政策的にどうするかということですが、自然の流れにまかせれば今のような状況です。みなみの里を作る時がですね、その議論で、おおいに意見が出ました。要するに、あのような商売ものは国道するべきだと。それが商売のいろはじゃないかと。なぜあそこに建てるのかと。私どもとしては、あの地域を振興させるために敢えてあそこにつくるんだと。結果的に多くの方にきていただいています。要するに、あそこに政策的に幼稚園・保育園を作るとか住宅政策をとることも十分に可能です。それもひとつ地域の均衡ある発展として考えれば、そういった政策も行政的にはある程度とっていきます。とりあえずは、子どもたちが非常に偏りしている、三輪小学校がこれ以上増えることが好ましいのか、あるいは東小田小学校がこれ以上増えることは望ましいのか、教室の施設整備にしても。中牟田小学校も増えますが、一番大きく増えるのは三輪小学校です。それを考えた場合に、三輪小学校としては、これ以上大きくなるのが好ましいのか、それともある程度ばらして配分した方がいいのか、その辺はどうなんでしょうか。</p> <p>三輪小学校は、まだマンモス校とはいえないのでしょうか。</p>
山下 指導主事	<p>町内の中では一番の人数を抱えておりますし、また学校訪問等で教室を見させていただいたところ、ぎゅうぎゅうな感じは非常にあります。やはり30後半の人数にまでになると、例えば一人ひとりのノートを見るにしても、教師の負担というのも非常にありますし、それが40人一杯になると、目が行き届きにくいという状況が出てくるのかなということも考えられます。</p>
田頭町長	<p>今がかなり一杯に近い状況ですか。</p>
山下 指導主事	<p>三輪小学校に関しては30人を超えてきていて、あと何人かでクラスが1増になります。</p>
佐藤委員	<p>学校訪問をしていて、教室の中は本当に余裕がないですね。教壇の横すれすれに机が並べてあるし、私たちが入っても気の毒な感じで、後ろとか横とかに入っていけない感じです。</p>
田頭町長	<p>今、住宅が年間200戸程度たっています。これは消費税が上がる前の一時的なものかというところとちょっとそうでもなくてですね。2歳から小学生くらいの子どもをもったファミリーが来てるんです。出生数よりも後の子どもたちが多くなっていくということが言えます。それが問題なのは偏りなんです。それは今後傾向が強くなってまいります。建築確認申請とかあがっている状況等をみますと、まだまだ増加するのは確かです。この動きが中牟田や東小田にも出てきています。この動きを三並にも…とは思っておりますが、長者</p>

	<p>町もいくらか増えるようです。まあそれ以上に三輪小学校が増えるということです。</p> <p>要するに、特認校というのは、何か問題を抱えた子が行くような位置づけがあるのかなと思いましたが、もっとフリーに、三並小学校に行くと学力上がるよとか。そういった何かプラス面の特徴があるから、そこに行きたいというのも生まれてくるのかなと。そういったのが政策だろうと思いますので、政策でやれるのか。</p>
佐藤委員	<p>今思いついたんですが、三輪のスクールバスを三並まで持ってきて送迎するというので何人か確保するということはできないのですか。</p>
田頭町長	<p>不可能ではないと思います。</p>
佐藤委員	<p>保護者の方に三並小学校のいいところを見てもらって、マンモス校よりもきめ細かに、こういったメリットがあるよと説明してですね、自分の子どもはこっちの方がいいなというような状況を作って。そして、送り迎えしてくださいではなくて、スクールバス出しますよということであれば…。</p>
田頭町長	<p>どうなのでしょう。</p>
砥上委員	<p>ちょっといいですか。6年くらい前に中牟田小学校のコミュニティストールでこれを検討をしたことがあるんです。やはりメリットもあればデメリットもあります。例えば、砥上地区の者は三並小学校に行った方が近いとある保護者が言いましたが、ある保護者は中牟田校区であるので、中牟田小学校に行きたいと言っていました。課題の2番目にも出ていますが、利用者の保護者に地域という意識が薄いため、地域行事やPTA行事等への参加が積極的には行われずトラブルになるということが書いてありますが、まず地域住民が了解しない。例えば、同じ地区の中で、この子はあっちの学校この子はこっちの学校という風になると、児童会や地域の行事がダメになります。その子たちが入れなくなります。そこが非常に問題があって、親がまず理解しないんですよ。例えば、行政がここの地区はこっちの学校に通いなさいよと勝手に決めると、地域がてんやわんやになると思います。その理解をどう得るかというところが一番難しいんです。</p>
田頭町長	<p>保護者の感覚ですよ。子どもたちにはそうないと思うんですよ。例えばおじいちゃんの時からこの学校に行っているから、今更なぜあの学校にというような。</p>
佐藤委員	<p>三輪あたりの新興住宅には関係ないのでは。</p>
田頭町長	<p>そうですね。これがもっと都市化すれば、私立に行ったりしますしね。私立とかであればもう関係ないですよ。私はこの学校に行きたいというようにね。</p>
砥上委員	<p>三並もバイパスができて、みなみの里ができて、道の駅ができて、通行も良くなって、非常にどんどん発展している。将来的には住む人が増えるんじゃないかなと思うんですけどね。今は近隣市町村から買い物にはくるけど</p>

	定住にはなかなか進まないですね。学校訪問に行ったら、先生をはじめみなさん頑張っているやると褒めるんです。やはり、もう少し生徒が増えたらいいのかなという気もするんですけどね、なかなか難しいですよ。
田頭町長	人口増政策というのは、まず観光人口を増やすんです。そういう人たちは日帰りで帰って行って、いいなと頭の中に入って行って、定住につながっていくんです。それと観光でいい面を見せれば、地域を出ていった人が見直すんです。戻ってくる。そのような状況が点々とうまれつつあります。 それと、ちょっと質問ですが、大体どれくらいになったら廃校になるのでしょうか。
山下指導主事	統合するかどうかについては、最終的にはどれほど小さくならうとも首長が残すと言え残すことができるようです。ただ、複式には基準がございまして、先ほど申し上げたとおり、2学年で16人を満たさない場合には複式にしていかなければならないということでした。
田頭町長	統合は必ずしもマイナスだけではないですよ。
山下指導主事	先ほども申し上げましたが、デメリットの部分が解消されてメリットになる、社会性があるし、色々意見が聞けるようになったということがあります。
田頭町長	統合については、議会で意見が出たこともあります。ただ、今のように災害が増えて、どこが一番安全かという三並なんですよ。まあそういった視点もあります。それと地域の面積バランスですね。それからしても三並小学校区が一番広いんですよ。それで時折統合論が出ますが、一蹴しています。そういった意見を持つ人はいます。ただ、人数をみると、統合という話ではないようですね、70~80名いるということは。
佐藤委員	少人数学校でも学力が高いといったメリットをアピールして、特認校で問題があるからその学校に行くということではなく、学力を伸ばすとかね。それとか、先ほど言われたように、ゆっくり少人数学級で勉強したいとかそういったところをですね。
田頭町長	尾崎委員、現職の教員としていかがですか。
尾崎委員	やはり少人数になると、きめ細かで学力が上がるというのはあります。ただ、新しく来られる方にメリットをアピールする場面がありませんよ。みなみの里を起点に、新しく来られる方にアピールするような…。私も元々筑前町に住んでいた人間ではないですが、子どもたちが大きくなって、自分で学校に通えるように、できれば電車の近くがいいなというところと、道路が狭くなくて広くて出入りできるというような。それぞれ移転してくる理由というのがあろうと思うんですよ。だから、良い部分をどんどんアピールできる場面がどこかにあるといいのかなと。
田頭町長	例えば、我々が一番タブー視している学校ごとの成績ですね。これを出さないじゃないですか。出せば学校間の比較ができる。選択肢を与えないから良いところも悪いところもわからないじゃないかないかという。やはり保護

	<p>者の関心事は学力ですよ。肝心なところを出さない。それは教育委員会の大きなトータル的な理念があるからと聞きますが、その辺に一般の保護者とのずれがあるのではないかと。その辺はどうか、山下さん。</p>
山下 指導主事	<p>成績を公表するという点に関して、三並小学校が好調を保っているというのは事実なのですが、やはり母集団が小さいです。数名の成績の良い層がいれば、グッと引き上がるということが分析結果として出ています。あの小規模の中でも、低位層のお子さんもかなりいらっしゃいます。ですので今のまま成績を公表して、うちにくれば上がるよといっても、母集団が増えれば他校と同じようになる可能性が高いのではないかと思います。今、三並小学校の成績が上がっていったのは、低位層の子を放課後残してマンツーマンで指導したということから始まっています。人数が増えればそこができなくなりますので、どうしても成績自体は伸び悩みに繋がるのかなというのは、ひとつ懸念として思っておりますので、それを大々的にしてしまっただけで学力下がったじゃないと言われるのも、ちょっと何か違うのではないかなという気はしております。</p>
田頭町長	<p>そうですね。平均というのは統計値のマジックですから。世論調査でも全くしかりですから。</p> <p>それはそれで保護者が判断することで。少人数の統計ですよということ。</p>
砥上委員	<p>それと各学校がホームページを持っていますが、町長がいつもおっしゃっている言葉に、「町は教育で作られる」というのがあります。例えば、福岡方面からこちらに定住してこようと思ったとして、自分がどんな学校に行くのかなということ、まずホームページを見ると思うんです。私も時々チェックしています。私がいつも教育委員会で言っていることなんです、学校によっては更新が非常に遅い。やはり保護者が見たときに、自分の子どもがどんな学校に行くのかがすぐわかるように、特に気を使うべきだと。そこが繋がっていくということを考えてもらわないとですね。</p>
田頭町長	<p>やはり情報発信というのは、極めて今の社会で重要でありまして、努めてみなみの里も平和記念館も出しています。学校も積極的にアピールすべきだと思います。アフタースクールはすごいと思いますので、それを出せば、誰が一番喜ぶかと言えば、講師の先生ですよ。講師の先生のやる気が起こりますよ。そして、利益を被るのは子どもたちです。教育関係でもいい情報は発信していくべきだと思います。学校の魅力に繋がるし、先生の意欲に繋がっていくと思います。</p> <p>私は、アフタースクールがどうこうということではなくて、生徒の学力が上がったということは先生たちの自慢だと思います。</p> <p>情報発信ということを含めて三並小学校の問題を。行政的にも人口問題として捉えていきます。人口増減には教育部門は非常に大きいんですよ。そのことを念頭におきながらやっていただければと思います。</p> <p>結論は出ませんが、こういった考え方であるということは共有したいと思っております。次に学校施設の洋式トイレ化について説明をお願いします。</p>

	ます。
宮崎 課長補佐	<p>(3)学校施設の洋式トイレ化について説明をさせていただきます。①の現況でございます。それぞれの洋式トイレ率は、三輪小学校 100%、東小田小学校 45.5%（平成 24 年 9 月に第 1 棟改修）、中牟田小学校 52.6%、三並小学校 41.4%、三輪中学校 75.6%、夜須中学校 24.1%です。さらに、夜須中学校につきましては、非常に悪い環境にあるということです。全体では 58.5%となっています。</p> <p>次に②の近隣市町村の状況でございます。小郡市は 48.9%で、今年度三国小学校と立石小学校を行ったということで、令和 2 年度に小学校 2 校、中学校 2 校の洋式化を予定しているということです。これで令和 2 年度におきまして、全ての学校で 100%を達成する予定ということです。筑紫野市はおおまか 50%程度で今後の方針については随時改善していくそうですが、詳細は未定ということです。朝倉市のパーセンテージはわからないそうですが、平成 29 年度に秋月小学校が 100%、平成 30 年度に杷木小学校が 100%で、今後の方針については随時改善していくそうですが、改善時には 100%を目指すそうです。大刀洗町は中学校が 100%で、令和 2 年度は小学校 4 校を一括して洋式化 100%にする予定とのこと。ウォシュレットの設置については、どの市町村についてもしないということでした。筑前町としては、令和 2 年度に夜須中学校を洋式化する予定で、予算は 1 億 2 千万円。令和 2 年度までに取り組むと、国土強靱化の補助金がつきまして、国庫補助 3 分の 1 でございますけれども、財源構成が起債が補助裏 100%充当の交付税措置 50%、元々ある大規模改修事業がありますけれども、こちらにつきましては国庫補助 3 分の 1 で充当率 75%のうち交付税措置 30%という構成になっています。</p> <p>今後東小田小学校、中牟田小学校、三並小学校については、要検討であろうという風に考えております。以上でございます。</p>
田頭町長	<p>今、近隣の状況も含めまして説明していただきました。これは私もですね、正直近隣市町村長から聞いておりまして、なぜ今年やらないのかと言われました。うちも 100%目指すなら今がチャンスなんですね。将来かかるときよりも今補助金が高いときにやっておかないと。こういったのは短期集中でやるべきなんです。この辺は政策会議の中できちんと謳いながら議論していった方針を決定していただかないと。教育委員会だけの見解ではなくて、これは大いなる財政問題なんです。そこを含めて今後議論していきたいと思っております。どうせなら 100%でしょう。どうやったら 100%早くなれるか、どういった補助金をとってくるか。それはもっと政策会議なりで説明を要すると思います。勝手に教育委員会だけで決める問題ではないということをお場で伝えたいと思います。</p> <p>第一、現実的に今、洋式でない家庭は少ないじゃないですか。ウォシュレットは大半あるし、ウォシュレットを入れる入れないは教育上の問題があるかもしれませんが、洋式化についてはあの学校は 2 年後でいい 3 年後でいい</p>

	という話はなかろうと思います。子どもの立場にたっても親の立場に立っても。だから、その辺はやるなら一斉にやると。予算措置については十分考慮します。できれば来年度やるような変更ができれば変更していただきたい。
委員全員	そうしていただけるのであれば、進めていただきたい。よろしくお願いします。
田頭町長	我々は、深刻に議論はすべきだと思っておりますので、この中から新たなものがうまれればと思っております。ぜひよろしくお願いいたしますと思っております。
斉田係長	5のその他ということですが、皆様なにかございますでしょうか。ないようですので、これで閉会します。
	(閉会 17:23 )

上記会議の経過を記載し  
その相違ないことを証するために署名する。

議事録署名人 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_